

長野市人口ビジョン改訂版（案） 修正対照表

ページ	修正前	修正後
5 ページ	(2) 自然動態の推移 ア 出生・死亡の推移 (1 行目) 出生数は、2007（平成 19）年には、死亡数が出生数を上回る状況となりました。	(2) 自然動態の推移 ア 出生・死亡の推移 出生数は、長期的に減少傾向が続いており、2007（平成 19）年には、死亡数が出生数を上回る状況となりました。
11 ページ	(2) 目指すべき将来の方向（人口目標） (1 行目) これまでの人口ビジョンから、本市の将来人口は、社会動態よりも自然動態の方から影響を受けています。今後も一定の人口を維持するためには、更なる子育て施策や結婚支援を充実し出生率を向上させること、また、移住・定住の促進、地域企業の変革や企業誘致等、産業基盤強化による雇用の創出などにより、転出抑制と転入増加を同時かつ相乗的に進めることで、将来人口に好影響を及ぼすことを目指す必要があります。	(2) 目指すべき将来の方向（人口目標） 本市の将来人口において、今後も一定の人口を維持するためには、子育て施策や結婚支援の充実により出生率を向上させること、また、移住・定住の促進、地域企業の変革や企業誘致等、産業基盤強化による雇用の創出などにより、転出抑制と転入増加を同時かつ相乗的に進めることで、将来人口に好影響を及ぼすことを目指す必要があります。
12 ページ	(3) 人口目標の試算 (表中の仮定値) ・社会増減 今後も、 2005～2020年の平均的な純移動率を維持 (社人研推計の社会増傾向の維持)	(3) 人口目標の試算 ・社会増減 今後も、社人研推計に準じ、2005～2020年の平均的な純移動率を維持し社会増へ転換